

2022年8月28日

日本慢性疾患重症化予防学会 サマーセミナー 2022

シンポジウム「透析予防：地域連携はこう進める：課題とその解決」

院内連携から院外連携へ

厚生連高岡病院

糖尿病・内分泌代謝内科

島 孝佑

COI 開示

発表者名：◎島 孝佑

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌内科 島 孝佑



- 2008年4月 金沢大学附属病院 内分泌・代謝内科 旧第一内科
金子周一教授、篁俊成教授に師事
- 2011年4月 福井県済生会病院 内科
- 2012年4月 富山県立中央病院 内科(内分泌・代謝)
- 2015年4月 金沢大学附属病院 内分泌・代謝内科
- 2018年4月 厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌内科 科長
- 2021年4月 厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科 診療部長

チーム医療の研鑽



医療圏人口 約32万人
高岡市 人口 17.2万

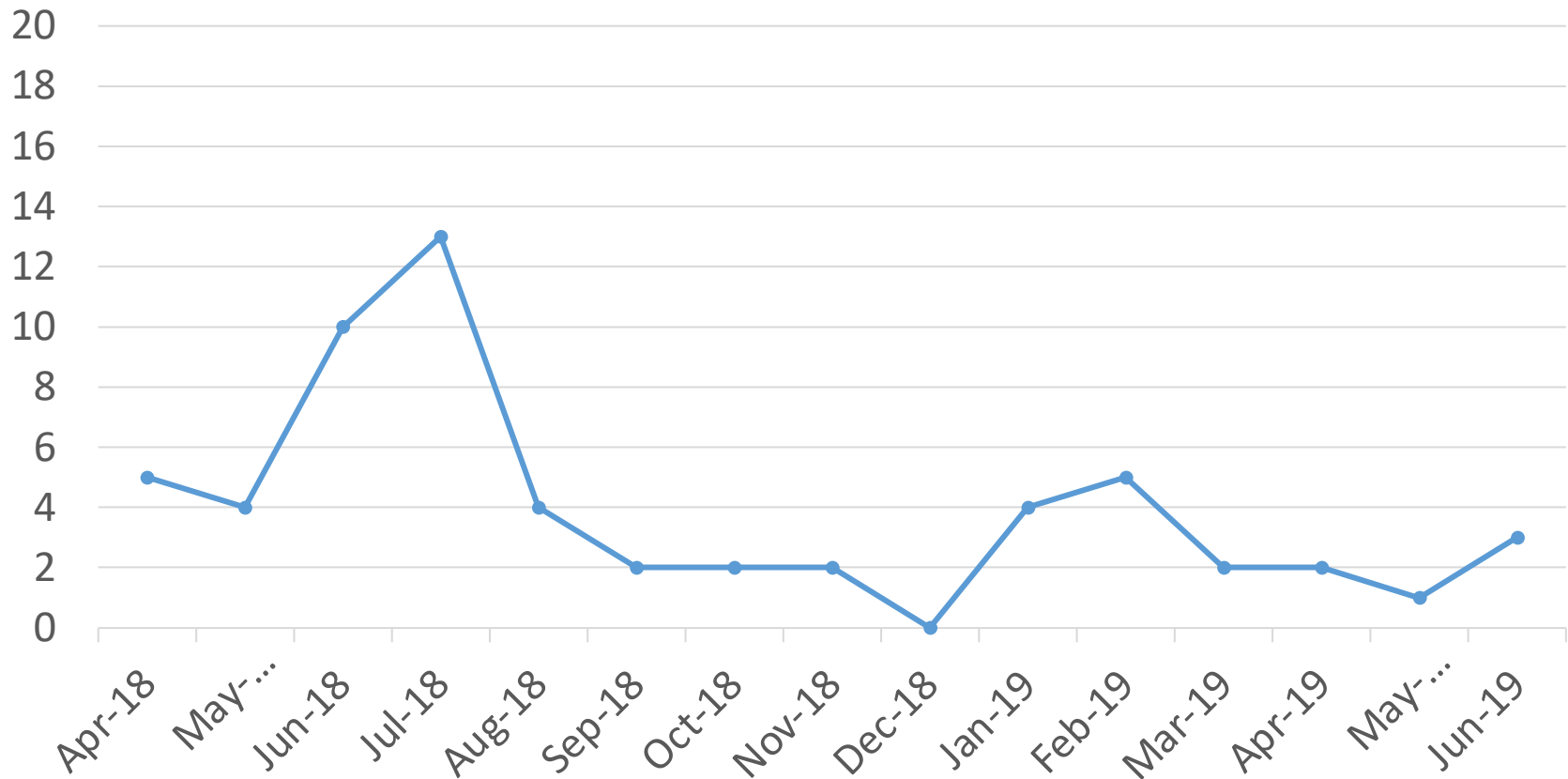
厚生連高岡病院
一般病棟／533床(開放型病床10床)
うち救命救急病棟 8床 集中治療病棟 12床
NICU 3床 緩和ケア病棟 16床
地域包括ケア病棟 49床
DPC II 群病院 特定病院群

高岡市民病院	401床
富山県済生会高岡病院	251床
JCHO高岡ふしき病院	199床

院内連携から院外連携へ

- 院内連携のポイント
 - ✓透析予防だけではうまくいかない
 - ✓病院全体の糖尿病力を高める努力が必要
- 院外連携のポイント
 - ✓他院との連携
 - ✓行政との連携
 - ✓医師会（地域の先生方）との連携
 - ✓薬局との連携

糖尿病透析予防指導管理料算定件数



2018年4月赴任後、一時的に件数は増えたものの、すぐに件数は減少してしまった。

透析予防指導が続かない理由

- 誰に指導していいかわからない。
- 患者さんが嫌、めんどくさいといっている。
- 毎回話すことがない。
- 患者さんに負担な気がする。

ハイリスクアプローチしていない。
主治医が患者のモチベーションを引き出せていない。
減塩などのポイントがわかっていない。
要するに糖尿病チームが透析予防指導できるレベルにない。

まだ自分が信用されていない→院内を整備しよう

厚生連高岡病院

糖尿病管理マニュアル2021

～急性期患者の糖尿病管理～

厚生連高岡病院 糖尿病委員会

糖尿病チェックリスト

□病型は？

2型以外。1型糖尿病、ステロイド、妊娠など

□管理状況は？

HbA1c 8%以上、空腹時血糖 160 mg/dl以上

□治療薬は？

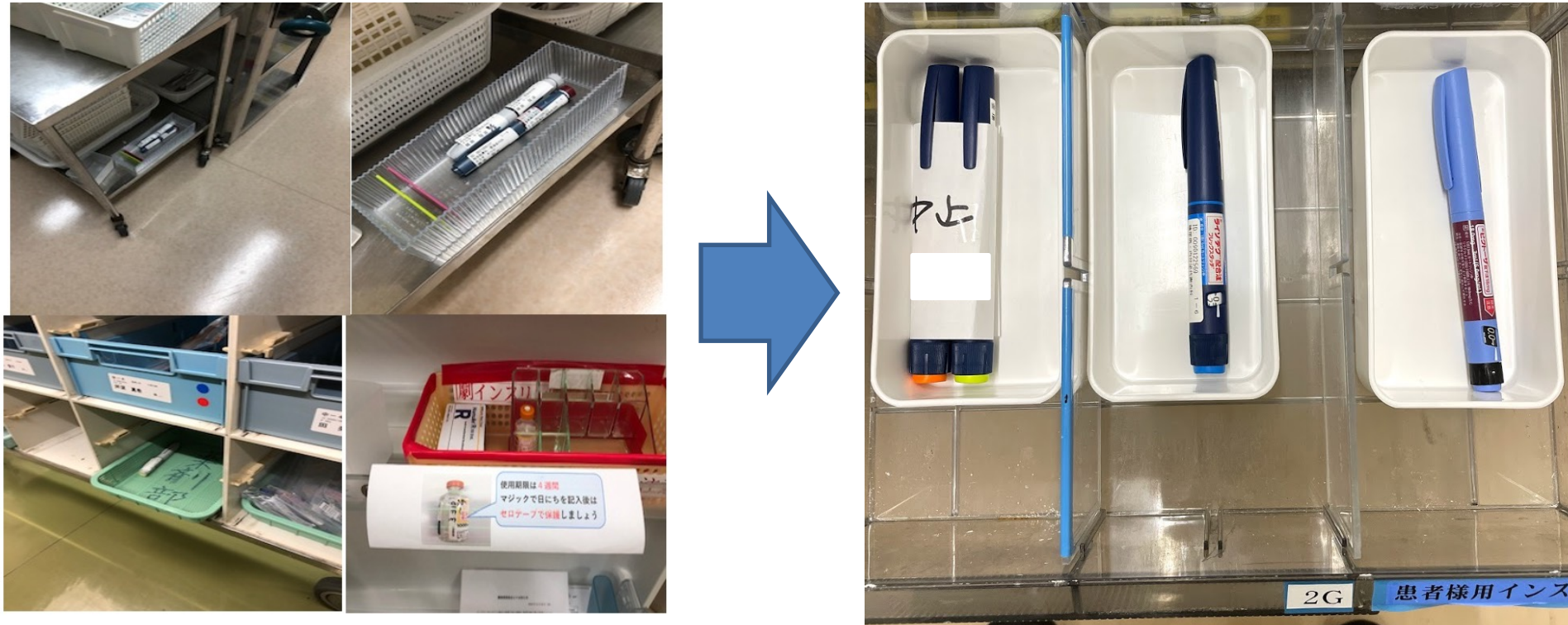
SU薬（グリメピリドなど）or インスリン使用中

□退院後インスリン治療が必要？

上記にどれかに当てはまる場合は、
糖尿病・内分泌代謝内科コンサルトをご考慮ください

インシデントレポートの分析から
コンサルトすべき症例を抽出した

院内ラウンドを通して



全病棟のインスリン置き場、冷蔵庫でのインスリン保管状況を確認
管理方法を統一。患者ごとにトレイに入れる。

医療者が使用

通常



メディセーフフィットプロⅡ
メディセーフフィットプロチップ
ニプロLSランセット

感染患者用



グルテストアクア
グルテストNeoセンサー
ニプロLSランセット

患者さんが使用 (手技指導)



グルテストアクア
グルテストNeoセンサー
ジェントレット
ジェントレット針

POCT機を積極的導入し、院内血糖測定の適正化



院内糖尿病療養指導士マップ



高田 真吾	1-4 (2141)
塩田 那津希	1-4 (2141)
村中 智恵	1-4 (2141)
高倉 春奈	2-6 (2261)
稲田 智美	内科外来 (3111)
斉藤 祐貴	NICU (2451)
中新 麻沙美	1-6 (2161)
大海 朋恵	1-6 (2161)
開田 麻衣子	ICU (2431)
木谷 和美	看護学校

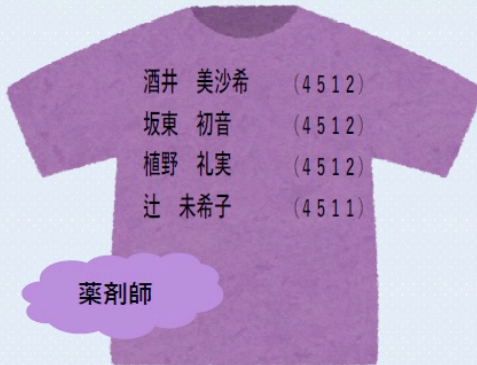
看護師

《LCDE》

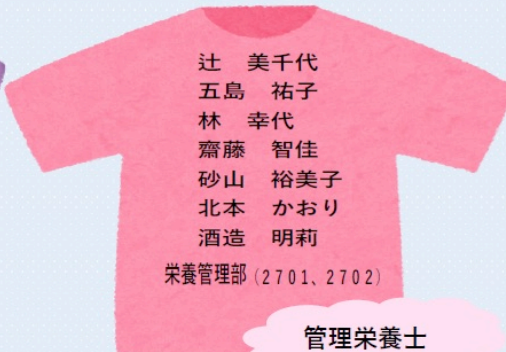
二橋 雪絵	内科外来 (3111)
-------	-------------



臨床検査技師



薬剤師



栄養管理部 (2701, 2702)

管理栄養士



日本糖尿病学会専門医



島 孝佑 (4110)

迫 佐央理 (4114)

私たちが全力でサポートします。お気軽にご相談下さい。

CDEJを育てる

- 核になる看護師を育てる
- レポートを添削
- 勉強会
- 院内CDEJ22名

糖尿病チーム委員会

医療安全

マニュアル

患者指導

医師
看護師
(リンクNs、CDE)
管理栄養士
検査技師
薬剤師
リハビリ
医事課

スタッフ教育

透析予防
チーム指導

他科コンサルト
地域連携

リーダー
迫佐央理先生



第6回『糖尿病』セミナー ～重症化予防を真剣に考える～

日時 2021年 4月 13日 (火) 19:00～20:00

会場 ご自宅や病院、診療所などから、
ご視聴いただきますようご案内申し上げます。

特別講演

座長 厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科 診療部長
島 孝佑 先生

地域の総力戦 糖尿病重症化予防への取り組み
～大館市の現状と課題～

演者 大館市立総合病院 内分泌・代謝・神経内科 部長
池島 進 先生

糖尿病性腎症重症化予防勉強会

のお知らせ



第1セッション 2021/7/27 (火) 19時

「JMAPの取り組みと

疾病管理MAPによるハイリスク者患者の層別抽出」

日本慢性疾患重症化予防学会 (JMAP) 平井 愛山 先生

第2セッション 2021/8/26 (木) 19時

「腎保護治療と阻害要因除去」

日本慢性疾患重症化予防学会 平井 愛山 先生

第3セッション 2021/9/14 (火) 19時

「糖尿病性腎症重症化予防の政策展開と地域連携」

日本慢性疾患重症化予防学会 松本 洋 先生

各セッション (zoomにて) 90分講義+質疑

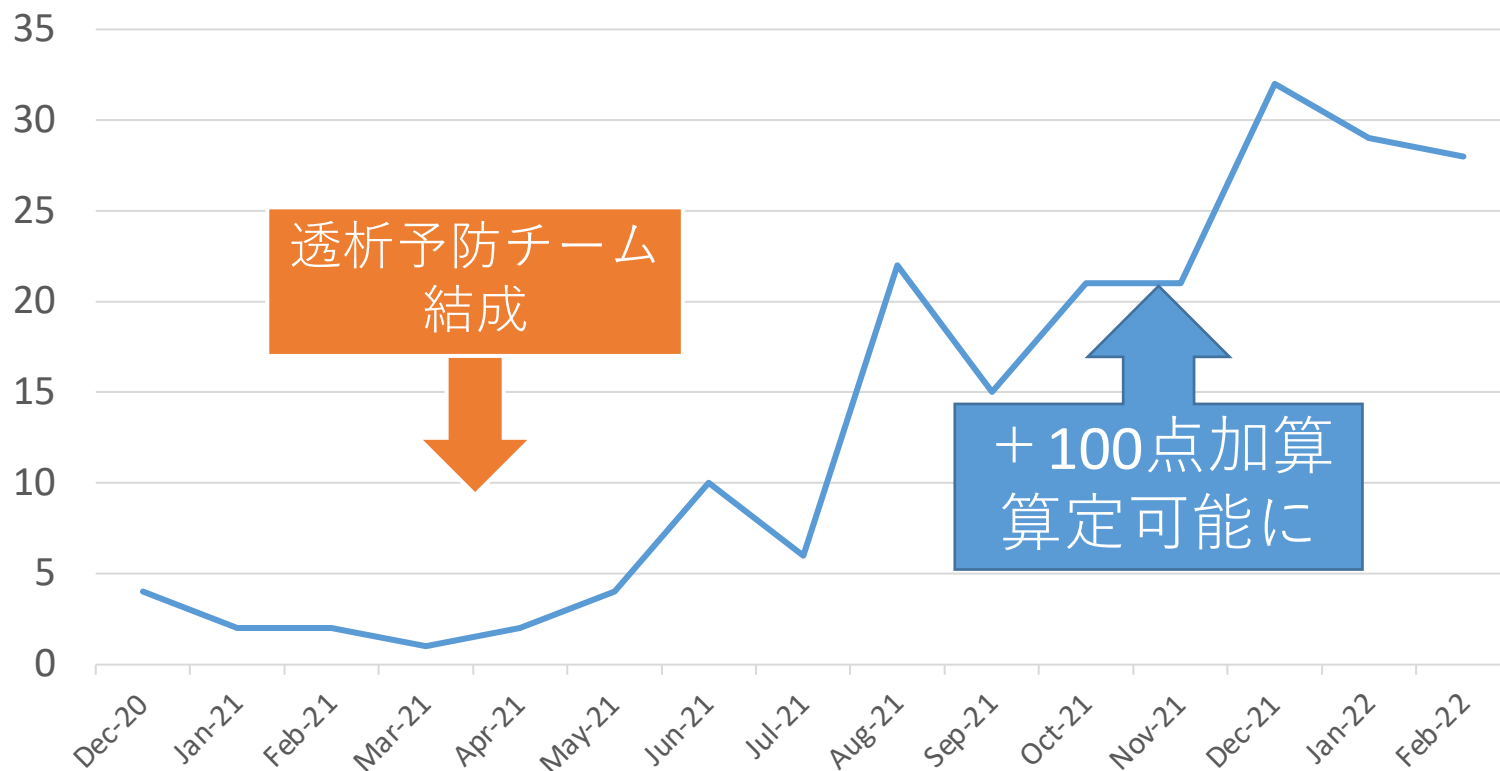
各セッション毎にJMAPよりZoomアドレスが配信されます



院内糖尿病診療が整備され
やっと重症化予防のセミナー開催
ここまでに3年以上を要した

JMAP関連の先生方ありがとうございます。

糖尿病透析予防指導管理料算定件数

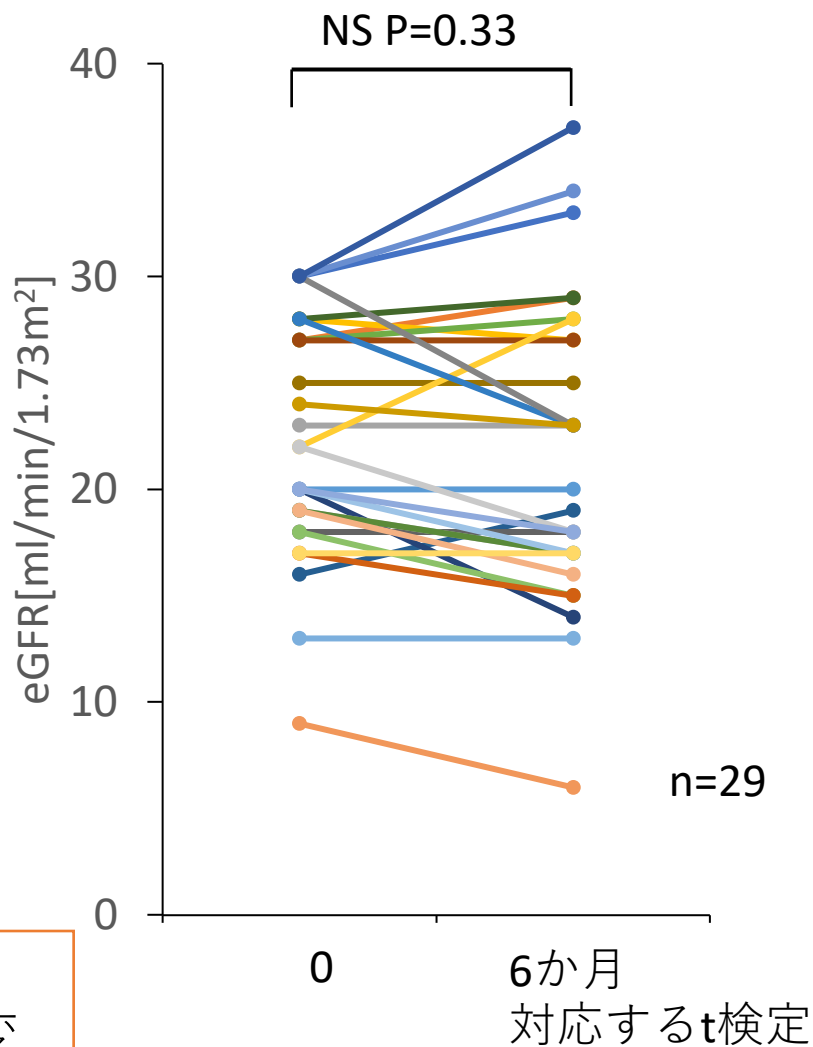


現在は約60症例の透析予防指導、管理を行っている
チームの体力があれば、あとはJMAPシステムに乗るだけ

透析予防指導のアウトカム

初回指導時と指導6ヶ月後のeGFRの比較

算定した患者数 2022年2月から4月	61
eGFR 30未満	34
eGFR30未満のうち3か月以上経過した時点で血清Crが不変または低下	9
尿蛋白排泄量が20%以上低下	12
eGFR低下率が30%軽減	4
改善あるいは不変	25 73.5%



指導患者の55%半数以上がeGFR 30未満腎症4期の患者の73.5%が改善あるいは不変

院内連携から院外連携へ

- 院内連携のポイント
 - ✓ 透析予防だけではうまくいかない
 - ✓ 病院全体の糖尿病力を高める努力が必要
- 院外連携のポイント
 - ✓ 他院との連携
 - ✓ 行政との連携
 - ✓ 医師会（地域の先生方）との連携
 - ✓ 調剤薬局との連携

第8回『糖尿病』セミナー

～重症化予防を真剣に考える～

日時：2022年4月22日（金）18:45～20:30

場所：高岡市ふれあい福祉センター 1階 多目的ホール

本講演会はWeb(Zoom)による視聴が可能です。ご視聴には事前申し込みが必要です。

Web視聴の申込方法

視聴をご希望の先生は、右記二次元コードから事前登録して頂くか、弊社担当者までご一報頂きますよう、お願い申し上げます。
登録が完了できましたら、視聴URLを送付させていただきます。
※二次元コードが読み込めない場合、その他不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
メールアドレス：bando.kaito.ge@daiichisankyo.co.jp 担当者：第一三共株式会社 坂東 快飛



一般講演 18:45～19:15

座長 富山県済生会高岡病院 内科 部長 高野 敦子 先生

重症化予防における各施設の現状と課題

演者 高岡市民病院 内科 部長 森 俊介 先生

演者 JCHO高岡ふしき病院 内科 医長 鈴木 ひかり 先生

特別講演 19:15～20:30

座長 厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科 診療部長 島 孝佑 先生

「糖尿病性腎症重症化予防」の地域実践に向けて ～「病院システム」⇒「医療システム」⇒「地域システム」～

演者 日本慢性疾患重症化予防学会 専務理事 松本 洋 先生

※当日は軽食のご用意はございません。

本講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、以下を実施いたします。

- ・ ソーシャルディスタンスの確保、換気と消毒を徹底いたします
- ・ ご来場時にはマスクの着用をお願いいたします
- ・ ご来場時には検温へのご協力をお願いいたします。37.5℃以上、または体調が優れない場合は、参加をお断りさせていただきます。何卒、ご理解 ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます

ご記帳・ご連絡いただきましたご施設名、ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

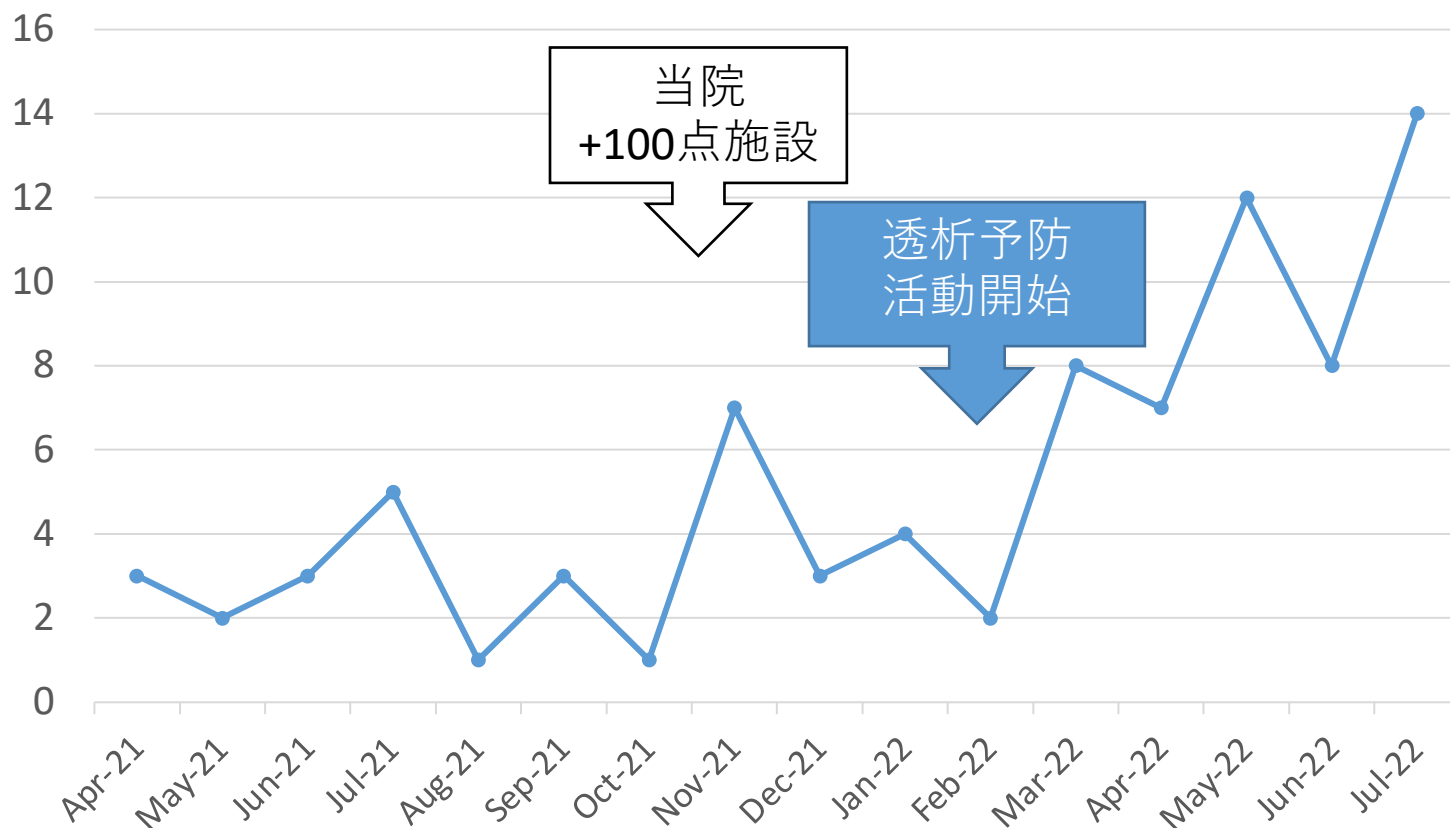
• 他基幹施設と連携
高岡市には4つの
総合病院。

• 出身母体の差異は
あれども、
行政、医師会との
連携には公平性が
重要。

富山県内で100名以上参加



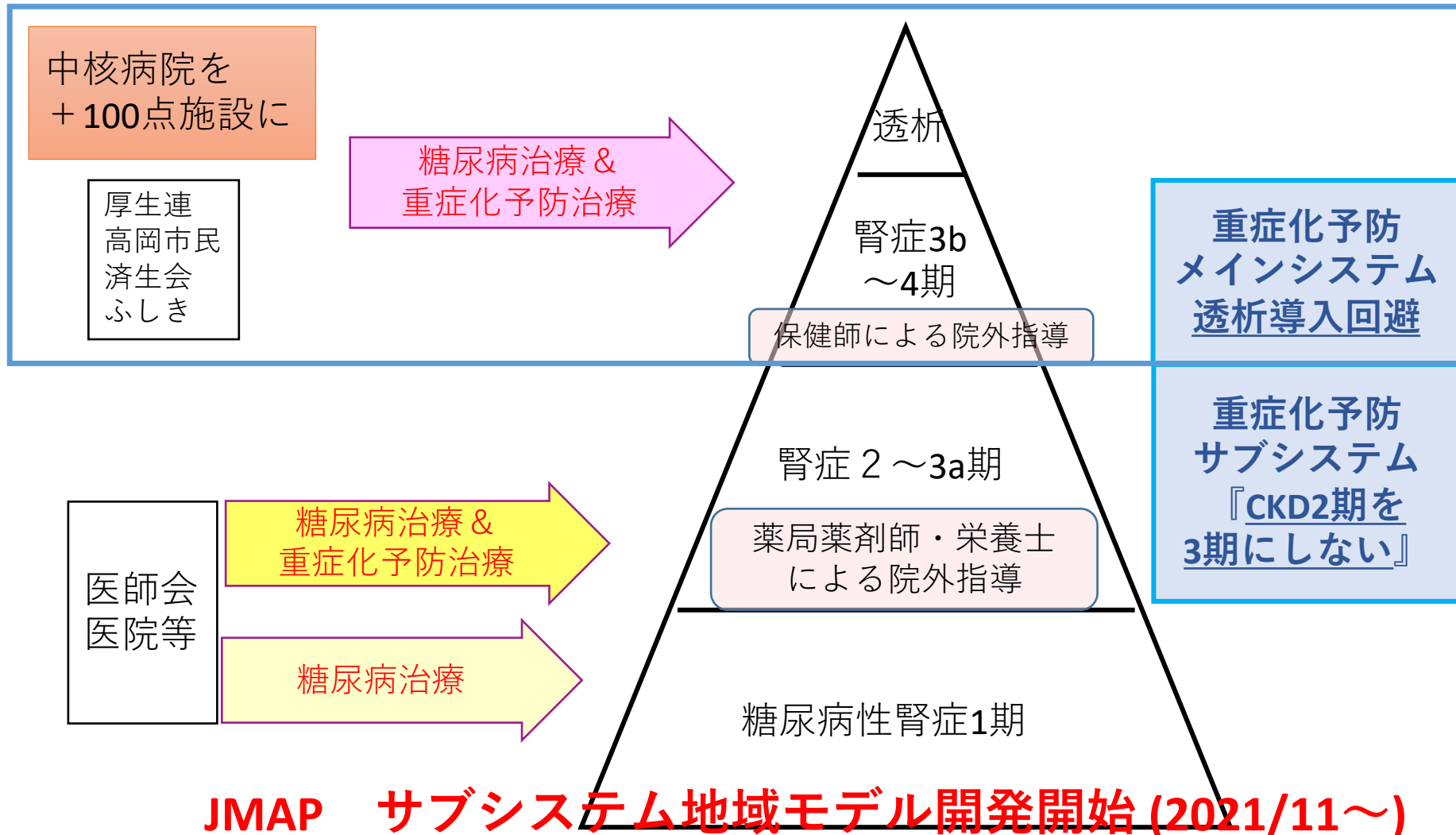
高岡市民病院の透析予防指導件数



平均月3件程度から、月15件程度に急激に増加
+100点加算に向けて活動中

糖尿病性腎症重症化予防の『地域包括型』システムへ

地域の医療・行政を総動員、合併症初期から重症化予防を行う





高岡駅前の
ドラえもん群像のように
のび太も
ジャイアンもスネ夫も
同じ輪の上に乗らないと
地域システムは出来ま
せん

松本 洋 先生

ドラえもん作者
藤子・F・不二雄氏
高岡市出身

みんなでやらないと
地域は守れない

結語

- 院内連携には、チーム育成が必須(耕す)。
当院では、院内整備から着手し、
透析予防システム展開(ハイリスクアプローチ、減塩、腎保護薬)、+100点加算算定まで3年を要した。
- 院外連携
どれだけ優れたシステムでも、自院だけでは、地域(行政、医師会、薬局)に展開できない。
他院も巻き込んだ公平性が重要。